

OSAKA MAFF 通信

Vol.20

2026. 8.27発行
近畿農政局大阪府拠点

Topics

- ◆『都市農業に関する交流会』を開催します
- ◆『みのりボイス』参加者募集中
- ◆ようこそフォレストガーデンへ ～市民農園整備促進法 大阪府内第1号認定～
- ◆うちの郷土料理「紅ずいきと油揚げの炊いたん」
- ◆『夏の熱中症等声かけ期間』展開中

写真：エノキの木陰

編集・発行 近畿農政局大阪府拠点
〒540-0008
大阪市中央区大手前1-5-44
大阪合同庁舎第1号館 6階
☎ 06-6943-9691



》『都市農業に関する交流会』を開催します

近畿農政局大阪府拠点、食や農への理解の促進と地域コミュニティの活性化に繋げるため、農に親しんでいる、農に親しみたいと考えている消費者の方を対象に「都市農業に関する交流会」を開催します。大阪府拠点ウェブサイトの[チラシ \(PDF\)](#) をチェックして、是非、ご参加ください。

都市農業に関する交流会

～ コミュニティ農園の可能性 ～

参加費
無料

定員100名
先着順

日時 令和8年9月17日(木) 13:30～16:30 (受付12:45～)

場所 **マイドームおおさか** 8F 第1・第2会議室 (大阪市中央区本町橋2-5)

Osaka Metro 堺筋本町駅 徒歩約6分 谷町四丁目駅 徒歩約7分 京阪電車 天満橋駅 徒歩約13分

対象者 農に親しんでいる、農に親しみたいと考えている消費者の方、関係機関等

内容 基調講演：「大阪公立大学が挑戦する都市農業」
大阪公立大学 教授 横井修司 氏

情報提供：「家庭菜園のあるある話」

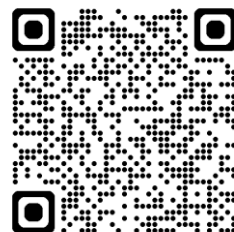
タキイ種苗株式会社 梅本 剛 氏

取組事例発表：「cotonなかせんば」 大西愛美 氏
「みんなのうえん」 金田康孝 氏
「ゆーかりファーム株式会社」 橋本和則 氏

トークセッション：「コミュニティ農園の可能性と種苗の役割」

詳細、お申込みは
[チラシ\(PDF\)](#)から

申込期限
9月11日(金) 17:00



》『みのりボイス』参加者募集中

田んぼの“今”を、 みんなで共有しよう

みのりボイス

スマホで田んぼの情報を投稿・共有できる、
無料のオンラインコミュニティ「**水稻情報共有コミュニティ**」です。

- 1 周囲の“変化”に、いち早く気づける** 病虫害・気象被害・生育の遅れなど、地域で今おきていることを **地図で確認** (地図機能は **8月末開始予定**)。先手を打って、自分の田んぼの管理や営農の判断にすぐ活かします。
- 2 かんたん投稿** 田んぼの状況をスマホですぐ投稿。(生育・病虫害・気象被害・鳥獣害など)
- 3 天気・お米ニュース** 農家向けの天気予報やお米・農業ニュースをチェック。
- 4 投稿履歴の確認** 自分の過去の投稿をマイページでいつでも確認。

農林水産省の統計調査を取りまとめる際の参考情報として活用されます。

✓ **安心して参加できます**

ニックネームで参加でき、本名は不要です。

投稿地点は郵便番号をもとにした代表地点。個人を特定しにくい形で扱います。

参加方法や詳細は
**二次元コードを
チェック**



「みのりボイス」
WEBサイト



フォレストガーデンは昭和61年堺市南部丘陵地域整備基本計画に基づき自然環境の保全と活用及び地域農業の振興を基本として市民菜園施設が提案され、平成5年には市民農園整備促進法の大阪府内第1号として認定されました。平成6年垣外谷池（かいとだにいけ）を中心とした垣外谷ゾーンが開園し、平成17年奥谷ゾーンが開園しました。



【フォレストガーデン案内図】
（奥谷ゾーンはHPより引用）

市民菜園



【市民菜園入口】



【中区画農場】

垣外谷及び奥谷ゾーンには、市民菜園エリアがあり、大（50㎡）中（30㎡）小（25㎡）の区画を設けて利用者に農地を貸し出しています。またエリア内には利用者が共有で利用できる農機具が収納された農具庫、屋根付の休憩所、水やり用水道蛇口が設けられています。利用者はトマト、ピーマン、オクラ、なすびなど色とりどりの様々な野菜を栽培されていました。

里山エリア



【ターザンロープ】



【複合遊具】



【レモンの木】



【泉北レモンの木】

垣外谷ゾーンには里山エリアがあり、子供たちが遊べるわんぱく広場とその周囲にはターザンロープなどの大型遊具も設けてあります。また堺市南区は柑橘類の栽培に適した気候で、エリア内には泉北レモン（堺市の「泉北をつむぐまちとわたしプロジェクト」のうち「泉北レモンの街ストーリー」の一環で栽培されたレモン）を栽培しています。

[フォレストガーデンについて 堺市（外部サイトヘリンク）](#)



》うちの郷土料理【紅ずいきと油揚げの炊いたん】



出典：農林水産省「うちの郷土料理」
画像提供元：山中 弓子

○歴史・由来・関連行事

ずいきとは里芋の葉茎のことで、関西では昔から夏の伝統野菜として親しまれてきた。なかでも泉州地域や南河内地域を中心に生産されているのが葉茎が赤褐色の「紅ずいき」。大きいものは背丈が約2m、葉の大きさは70cmに及び、食物繊維やカルシウム、カリウムなどが豊富に含まれる。アクが強いため、酢水につけてから茹でてアクを抜いてから調理する。シャキッとした食感で、中はスポンジ状になっているため味がしみこみやすく、おひたしや煮物によく用いられる。

この紅ずいきを油揚げとともに煮物にしたのが「紅ずいきと油揚げの炊いたん」。紅ずいきを使った定番のおばんざいである。「炊いたん」とは関西地方の言葉で「煮物」のことを指す。

○食習の機会や時季

紅ずいきの旬は7～8月で、その時期になると色鮮やかな紅ずいきが地域の直売所やスーパーマーケットに並ぶ。



うちの郷土料理：農林水産省

》『夏の熱中症等声かけ期間』展開中

農林水産省は、近年、夏季の高温化に伴い農作業中の熱中症リスクが高まっていることを踏まえ、熱中症の危険性や基本的な予防行動の啓発を行う「夏の熱中症等対策声かけ期間」を設定し、「いのちをうばう、夏のひとり作業」をキャッチフレーズに、農業者の皆様への声かけ運動を全国で展開しています。

7月から9月は 夏の熱中症等声かけ期間です!

農作業中の熱中症等による死亡者が急増しています!
このうち、約85%が7～8月に発生しており、非常に熱中症リスクが高くなっています。
熱中症事故は、周りの人がお互いに気を配り、声をかけ合うことで、防げる可能性があります!

農作業中の熱中症等による死亡者数
(平成27年～令和6年の累計)

月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
死亡者数	1	3	5	9	20	136	133	11	2

声かけ活動のポイント

家族で
作業前だけでなく、作業中もこまめなコミュニケーションを
□「水分、持った?」
□「体調が悪くなった、すぐに連絡して」

職場で
その日の体調や暑さに応じて柔軟な声かけを
□「顔色わるいよ、休憩しよう」
□「WBGT値が高いから、暑は作業を中断しよう」

地域全体で
声を合わせたら、まづ一声声をかけよう
□「今日は熱中症警戒アラートが出てるよ」
□「暑は暑いから、高い所も気を付けて」

キャッチフレーズは
「いのちをうばう、夏のひとり作業」

↑クリックしてチラシをダウンロード
チラシ(PDF:2.561KB)

夏の熱中症等声かけ期間

令和8年9月30日(水)まで

熱中症等対策声かけ隊

同期間に声かけ活動に取り組んでいただける団体を「熱中症等対策声かけ隊」として、8月末まで募集しています。取組内容に応じて必要資材を提供するとともに、最終的に活動実績の報告があった団体は農水省ウェブサイトに掲載するとともに、感謝状を贈呈いたします。

熱中症等声かけ隊：農林水産省

農作業中の熱中症対策動画

↓クリック

(参考) 農作業中の熱中症対策講座 (外部リンク)

地方参事官ホットライン 電話：06-6941-9658 (平日9:00～17:00) メール：hotline_kinkiosaka@maff.go.jp

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見等がございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまで連絡ください。広報誌に対するご意見等もお待ちしています。

近畿農政局 大阪府拠点 地方参事官室

電話：06-6941-9658 (対応時間 平日9:00～17:00)

メール：hotline_kinkiosaka@maff.go.jp

Webサイト：<https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/161215.html>

